

2021年度 森林総合研究所 公開講演会

伝えたい！森の中の放射性セシウム

～10年で明らかになったこと～

森にすむ 野ネズミの放射性セシウム濃度

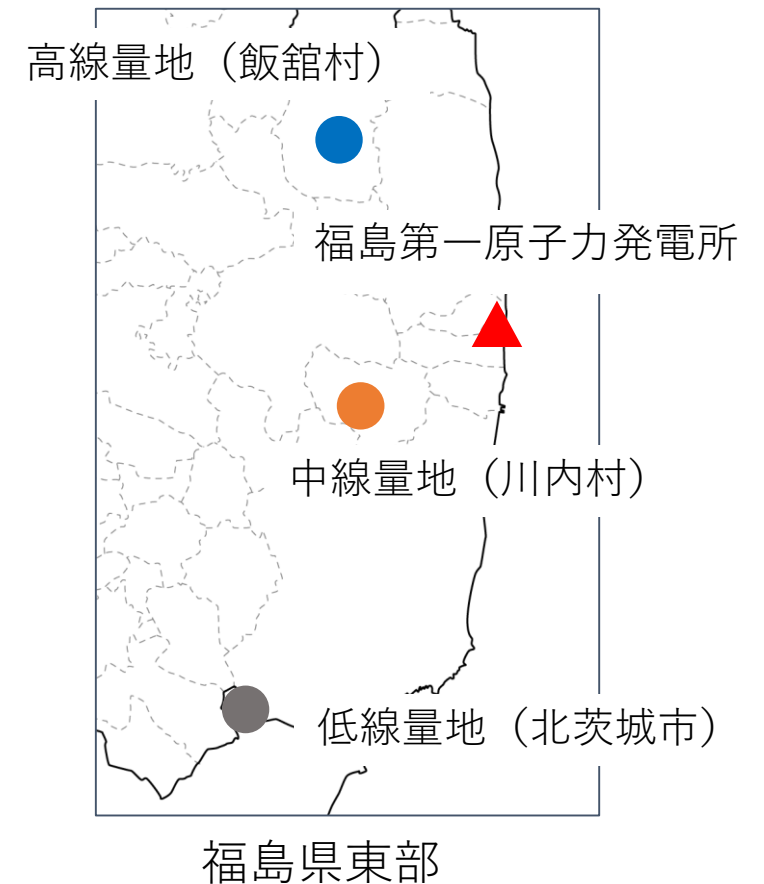
野生動物研究領域 島田 卓哉

なぜ野ネズミを調べるのか？

Q. 森林に広まった放射性セシウムは野生動物にどのくらい蓄積し、
どんな影響を与えるのだろうか？

- 日本中の森林に生息していて、捕獲が容易
→ 多地点でのサンプル取得が可能
- 野ネズミの生活場所（地表～地中）は
放射性セシウムの集積域
→ 影響が表れやすい

野ネズミの放射性セシウム濃度を
線量の異なる3地域で調査

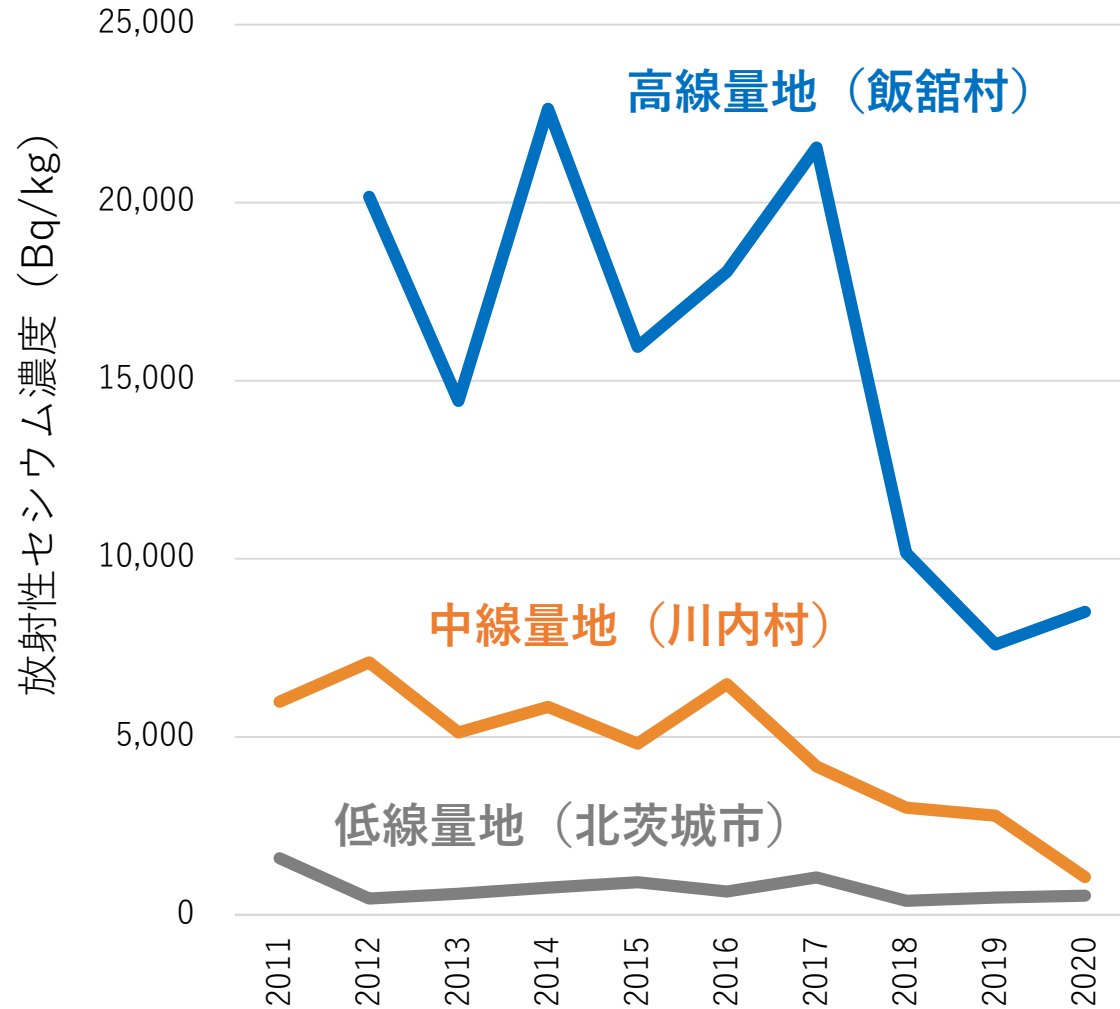


アカネズミ



2015/10/18 1:19

アカネズミの放射性セシウム濃度の推移



- もっとも捕獲数の多かったアカネズミ951頭のデータ（筋肉中の放射性セシウム濃度）を解析
- 空間線量の高い地域ほどアカネズミの放射性セシウム濃度も高い
- 高・中線量地では、事故後6-7年後にやっと放射性セシウム濃度が低下しはじめた

10年でわかったこと

- 高・中線量地のアカネズミは、平均5000Bqを越える高い濃度で放射性セシウムを蓄積していた
- 事故後6-7年を経て、放射性セシウム濃度が低下しはじめた
- 低線量地と同レベルまで低下するには、長い時間が必要
- 捕獲数の減少は認められなかったが、繁殖などへの影響は不明